

- 1 公表時期 令和 5 年 3 月
- 2 計画期間 令和 5 年度～10 年度（6 年間）
- 3 目標と個別施策

	現行（第 4 期）	従前（第 3 期）
目標	誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す	がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す
個別 施策	(1) がん予防	(1) がん予防
	(2) がん医療	(2) がん医療の充実
	(3) がんとの共生	(3) がんとの共生
	(4) これらを支える基盤	(4) これらを支える基盤の整備

4 主な見直しの内容

(1) がん予防

- ・「がん検診受診率」の目標値を 50%から60%に引き上げ

(2) がん医療

- ・「緩和ケア」に関する項目を、がんとの共生分野からがん医療分野に移行
- ・新たな技術の「速やかな医療実装」に関する項目を新規項目として追加

(3) がんとの共生

- ・「アピアランスケア※」を独立した項目として記載
 ※医学的・整容的心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

(4) これらを支える基盤

- ・「患者・市民参画の推進」及び「デジタル化の推進」を新規項目として追加
- ・「全ゲノム解析等実行計画2022」の着実な推進を記載

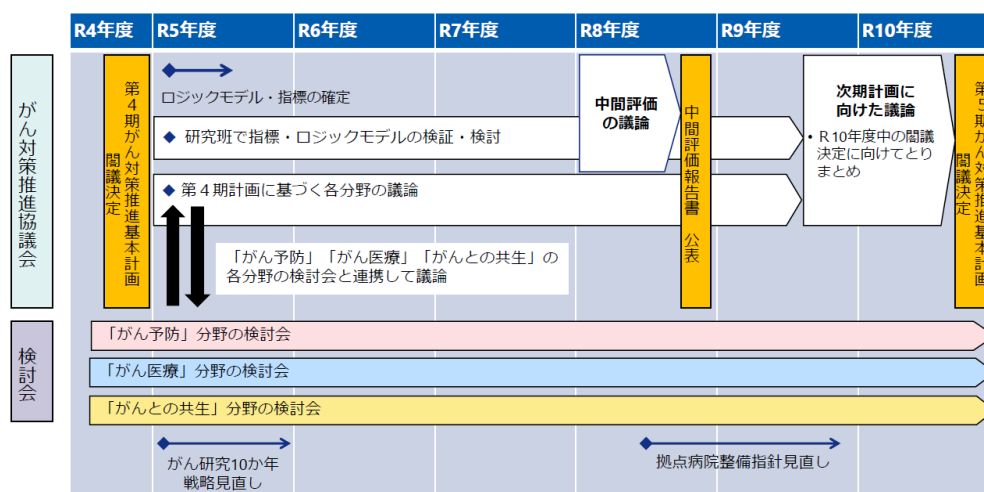
5 目標値設定 2 項目（がん検診受診率、精密検査受診率（従前の計画と同様））

※ほか、数値目標は示されていない。

6 今後のスケジュール

中間評価：計画開始後 3 年（令和 8 年度）

最終評価：計画開始後 5 年（令和 9 年度～10 年度）



県計画

健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」

1 計画期間 令和6年度～11年度（6年間）

2 新たな計画の方向性

- (1) 政府基本計画における政策の柱「がん予防」、「がん医療」、「がん共生」、「これらを支える基盤」に準じた構成とする。
- (2) 政府の第4期基本計画の新規・拡充項目のうち「妊孕性温存療法」、「アピアランスケア」、「デジタル化の推進」を新設するとともに、既存項目の充実を図る。
- (3) 政府の第4期基本計画に合わせた全体目標を設定する。

【次期】全体目標案	【現行】全体目標
<ul style="list-style-type: none"> ・がん死亡率の減少 ・がん罹患率の減少 ・がん生存率の向上 ・全てのがん患者とその家族の療養生活の質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんによる死亡者の減少 ・がん検診の受診率の向上 ・全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上 ・尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

3 目標の見直し

(1) 現行計画の評価指標数と評価

A又はA' 評価	B評価	C評価	D評価	E評価	合計
10	6	1	1	1	19

※A, A' 「改善」…目標を達成又は7割以上の改善 B 「やや改善」…2割以上7割未満の改善
C 「横ばい」…2割未満の増減 D 「悪化」…2割以上の悪化 E 「評価不能」

(2) 次期計画の評価指標設定

継続(10) 指標・目標値 とも変更なし ①	見直し(4)				新規(5)		廃止(5)		合計
	指標の見直し ^{※1}		目標値の見直し		国準拠 ^{※2}	県独自	国準拠	県独自	
	国準拠	県独自	国準拠	県独自					
	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
10	-	-	-	4	5	-	-	5	19

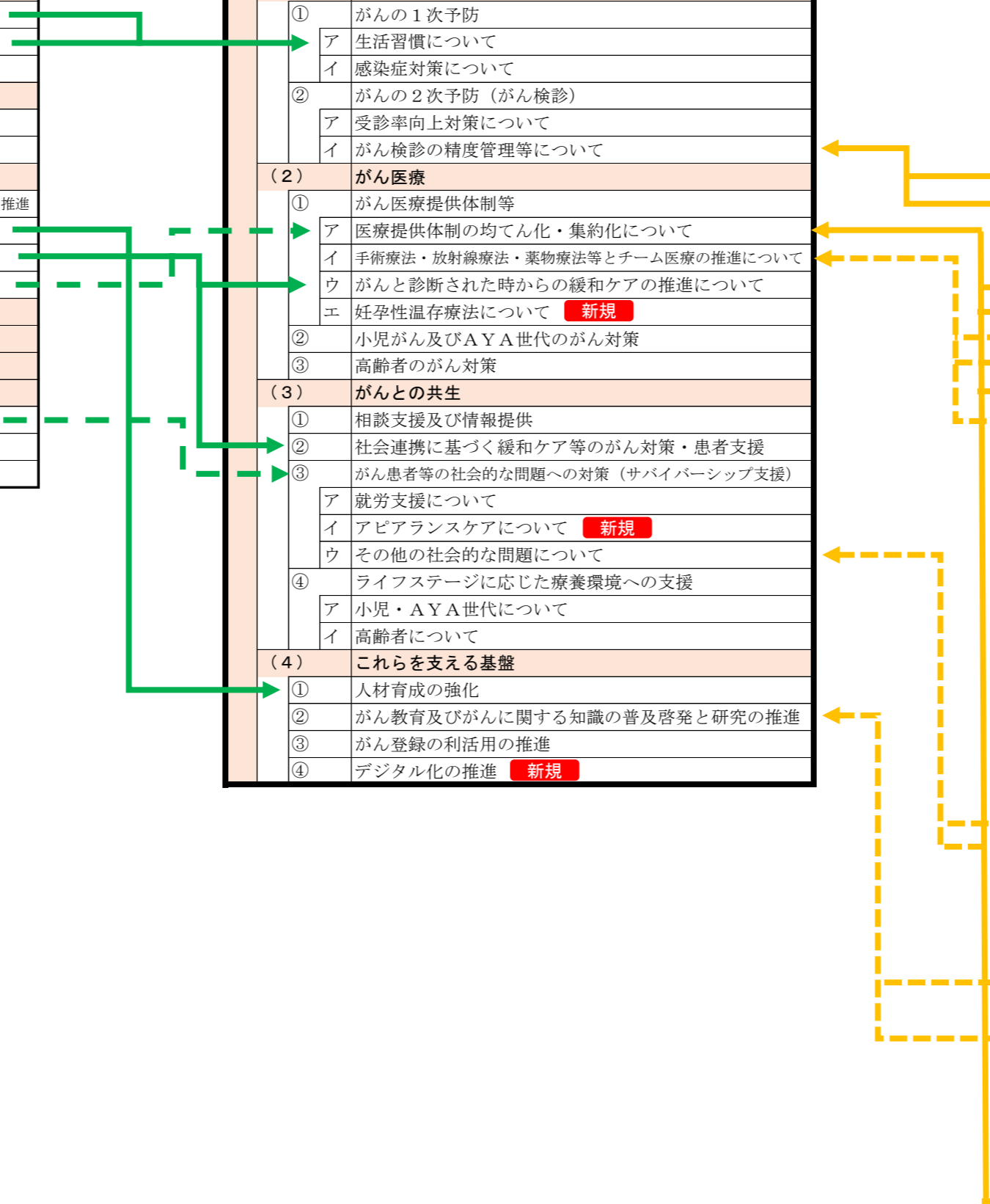
※1 評価指標の対象範囲等に係る見直し。これに併せて目標値も変更となる。

※2 政府が検討しているロジックモデルの暫定目標を参考に設定。

県 現行プラン (平成25年度～令和5年度)	
1	基本的な方向
2	実践指針
3	目標
4	分野別施策
(1)	がん予防の推進
①	喫煙対策の推進
②	生活習慣の改善
③	感染に起因するがんへの対策
(2)	がん早期発見の推進
①	がん検診の普及啓発
②	がん検診の精度管理・事業評価
(3)	がん医療の推進
①	手術療法、放射線療法、薬物療法等の更なる充実とチーム医療の推進
②	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成
③	がんと診断された時からの緩和ケアの推進
④	地域のがん医療連携体制の充実
(4)	がんに関する相談支援と情報提供の充実
(5)	がん登録の推進
(6)	がん教育・普及啓発及び研究の推進
(7)	ライフステージに応じたがん対策の充実
①	がん患者の就労を含めた社会的問題への対応
②	小児・AYA世代のがん対策の推進
③	高齢者のがん対策の推進

県 次期プラン (令和6年度～11年度)	
1	基本的な方向
2	実践指針
3	目標
4	分野別施策
(1)	がん予防
①	がんの1次予防
ア	生活習慣について
イ	感染症対策について
②	がんの2次予防(がん検診)
ア	受診率向上対策について
イ	がん検診の精度管理等について
(2)	がん医療
①	がん医療提供体制等
ア	医療提供体制の均てん化・集約化について
イ	手術療法・放射線療法・薬物療法等とチーム医療の推進について
ウ	がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
エ	妊孕性温存療法について 新規
②	小児がん及びAYA世代のがん対策
③	高齢者のがん対策
(3)	がんと共生
①	相談支援及び情報提供
②	社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
③	がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)
ア	就労支援について
イ	アピアランスケアについて 新規
ウ	その他の社会的な問題について
④	ライフステージに応じた療養環境への支援
ア	小児・AYA世代について
イ	高齢者について
(4)	これらを支える基盤
①	人材育成の強化
②	がん教育及びがんに関する知識の普及啓発と研究の推進
③	がん登録の利活用の推進
④	デジタル化の推進 新規

政府 現行計画 (令和5年度～10年度)	
第1	全体目標と分野別目標
1	科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
2	患者本位で持続可能ながん医療の提供
3	がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
第2	分野別施策と個別目標
1	科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
(1)	がんの1次予防
①	生活習慣について
②	感染症対策について
(2)	がんの2次予防(がん検診)
①	受診率向上対策について
②	がん検診の精度管理等について
③	科学的根拠に基づくがん検診の実施について
2	患者本位で持続可能ながん医療の提供
(1)	がん医療提供体制等
①	医療提供体制の均てん化・集約化について
②	がんゲノム医療について
③	手術療法・放射線療法・薬物療法について
④	チーム医療の推進について
⑤	がんのリハビリテーションについて
⑥	支持療法の推進について
⑦	がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
⑧	妊孕性温存療法について 新規
(2)	希少がん及び難治性がん対策
(3)	小児がん及びAYA世代のがん対策
(4)	高齢者のがん対策
(5)	新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装 拡充
3	がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
(1)	相談支援及び情報提供
①	相談支援について
②	情報提供について
(2)	社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
(3)	がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)
①	就労支援について
②	アピアランスケアについて 拡充
③	がん診断後の自殺対策について 拡充
④	その他の社会的な問題について 拡充
(4)	ライフステージに応じた療養環境への支援
①	小児・AYA世代について
②	高齢者について
4	これらを支える基盤の整備
(1)	全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
(2)	人材育成の強化
(3)	がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
(4)	がん登録の利活用の推進
(5)	患者・市民参画の推進 新規
(6)	デジタル化の推進 新規
第3	がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項
1	関係者等の連携協力の更なる強化
2	感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策 新規
3	都道府県による計画の策定
4	国民の努力
5	必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
6	目標の達成状況の把握
7	基本計画の見直し



健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」の個別目標見直し案

【現行】健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」											
整理番号	分野	目標	評価指標		H25年度プラン策定時		直近の状況		R5年度目標値	評価	指標出典
					数値	指標年度	直近値	指標年度			
1	がん 【総合目標】	がんによる死亡者の減少	がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）		男女計 80.6	H22	男女計 65.6	R3	男女計 67	A	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
2		がん検診の受診率の向上	がん検診の受診率	胃がん	47.0%	H22	56.1%	R1	60%	A'	国民生活基礎調査
3				肺がん	35.5%	H22	62.2%	R1	60%	A	
4				大腸がん	36.3%	H22	56.0%	R1	60%	A'	
5				子宮がん	42.1%	H22	46.5%	R1	60%	B	
6				乳がん	40.8%	H22	47.3%	R1	60%	B	
7				がん検診の精密検査受診率	76.0～88.4%	H23	75.8%～91.5%	R3	100%	C	
8	がん 【がん予防】	がんの予防対策の推進	肝炎治療費助成受給者数（累計）	—		4,042人	R4	3,600人	A	県健康福祉企画課調べ	



【次期】健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」										【現行】政府のがん対策推進基本計画	
整理番号	分野	目標	評価指標		R5年度プラン策定時		R11年度目標値	指標出典	指標区分	評価指標	目標値
					数値	指標年度					
1	がん 【総合目標】	がん罹患率の減少	がんの年齢調整罹患率（人口10万対）		男女計 375.9	R1	減少	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」	⑥	がん罹患率の減少	(数値目標なし)
2		がん死亡率の減少	がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）		男女計 65.6	R3	男女計 55	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」	⑤	がん死亡率の減少	(数値目標なし)
3		がん生存率の向上	がんの5年生存率		64.7%	2014-2015	70%	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」	⑥	がん生存率の向上	(数値目標なし)
4		がん患者の生活の質の向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合		70.3%	H30	検討中	患者体験調査	⑥	全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上	(数値目標なし)
5	がん 【がん予防】	がんの1次予防の推進	肝炎治療費助成受給者数（累計）		4,042人	R4	検討中	県健康福祉企画課調べ	⑤	発がんに寄与するウイルスや細菌への感染の減少	(数値目標なし)
6		がんの2次予防の推進	がん検診の受診率	胃がん	56.1%	R1	60%	国民生活基礎調査	①	がん検診の受診率（胃がん）	60%
7				肺がん	62.2%	R1	60%		①	がん検診の受診率（肺がん）	60%
8				大腸がん	56.0%	R1	60%		①	がん検診の受診率（大腸がん）	60%
9				子宮頸がん	46.5%	R1	60%		①	がん検診の受診率（子宮頸がん）	60%
10				乳がん	47.3%	R1	60%		①	がん検診の受診率（胃がん）	60%
11				がん検診の精密検査受診率	75.8%～91.5%	R3	100%		県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	①	精密検査受診率

①…(継続) 指標・目標値とも変更なし
 ②…(見直し) 指標の見直し(国準拠)
 ③…(見直し) 指標の見直し(県独自)

④…(見直し) 目標値の見直し(国準拠)
 ⑤…(見直し) 目標値の見直し(県独自)
 ⑥…(新規) 国準拠

⑦…(新規) 県独自
 ⑧…(廃止) 国準拠
 ⑨…(廃止) 県独自

健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」の個別目標見直し案

【現行】健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」											
整理番号	分野	目標	評価指標	H25年度プラン策定時		直近の状況		R5年度目標値	評価	指標出典	
				数値	指標年度	直近値	指標年度				
9	がん 【がん医療】	がん医療提供体制の充実	がん医療提供体制の充実	914件	H23	1,754件	R3	増加	A	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	
10			全部別初回治療に占める放射線治療の割合	9.8%	H20	7.8%	R1	15%	D	山形県がん実態調査	
11		がん医療に携わる専門医療従事者の増加	放射線治療専門医の配置割合（拠点・指定病院）	3/7病院	H24	5/7病院	R4	100%	B	がん診療連携拠点・指定病院現況報告書	
12			放射線治療専門放射線技師の配置割合（拠点・指定病院）	5/7病院	H24	6/7病院	R4	100%	B		
13			日本医療薬学会認定のがん専門薬剤師の配置割合（拠点・指定病院）	1/7病院	H24	4/7病院	R4	100%	B		
14		緩和ケア提供体制の充実	緩和ケア研修修了医師数の累計	緩和ケア研修修了医師数の累計	122医療機関 454名	H23	214医療機関 1,749名	R4	1,750名	A'	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ
15				緩和薬物療法認定薬剤師の配置割合（拠点・指定病院）	4/7病院	H24	5/7病院	R4	100%	B	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ
16		がん地域連携バスの運用件数の増加	がん地域連携バスの運用件数の増加	がん地域連携バスの年度末時点の運用件数（累計）	-	-	2,079件	R4	2,000件	A	山形県がん診療連携協議会調べ



【次期】健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」										【現行】政府のがん対策推進基本計画	
整理番号	分野	目標	評価指標	R5年度プラン策定時		R11年度目標値	指標出典	指標区分	評価指標	目標値	
				数値	指標年度						
12	がん 【がん医療】	がん医療提供体制の充実	がん医療提供体制の充実	1,754件	R3	検討中	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	⑤		(数値目標なし)	
-			全部別初回治療に占める放射線治療の割合	7.8%	R1	廃止	⑨		(数値目標なし)		
-		がん医療に携わる専門医療従事者の増加	放射線治療専門医の配置割合（拠点・指定病院）	5/7病院	R4	廃止	⑨		(数値目標なし)		
-			放射線治療専門放射線技師の配置割合（拠点・指定病院）	6/7病院	R4	【がん医療】から【これらを支える基盤】に移行			(数値目標なし)		
-			日本医療薬学会認定のがん専門薬剤師の配置割合（拠点・指定病院）	4/7病院	R4			(数値目標なし)			
13		がん 【がん医療】	がんと診断された時からの緩和ケアの推進	緩和ケア研修修了医師数の累計	214医療機関 1,749名	R4	2,000名	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	⑤	国民の緩和ケアに対する正しい認識を促すとともに、身体的・精神心理的・社会的な苦痛を抱える全ての患者が、分かりやすい説明を受け、速やかに医療従事者へ相談でき、適切なケア・治療を受けられる体制を目指す	(数値目標なし)
14				緩和薬物療法認定薬剤師の配置割合（拠点・指定病院）	5/7病院	R4	100%	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	①		(数値目標なし)
-		がん地域連携バスの運用件数の増加	がん地域連携バスの運用件数の増加	がん地域連携バスの年度末時点の運用件数（累計）	2,079件	R4	廃止	⑨		(数値目標なし)	
15	がん 【がん医療】	妊産性温存療法及びがん治療後の生殖補助医療に関する人材育成の推進	がん・生殖医療の意思決定支援に関する人材育成を実施している拠点・指定病院の割合	4/7病院	R4	100%	がん診療連携拠点・指定病院現況報告書	⑥	妊産性温存療法及び温存後生殖補助医療に関する科学的根拠の創出を目指すとともに、がん患者やその家族等が、治療開始前に生殖機能への影響について認識し、適切に意思決定ができるようにする	(数値目標なし)	

- ①…(継続) 指標・目標値とも変更なし
- ②…(見直し) 指標の見直し(国準拠)
- ③…(見直し) 指標の見直し(県独自)

- ④…(見直し) 目標値の見直し(国準拠)
- ⑤…(見直し) 目標値の見直し(県独自)
- ⑥…(新規) 国準拠

- ⑦…(新規) 県独自
- ⑧…(廃止) 国準拠
- ⑨…(廃止) 県独自

健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」の個別目標見直し案

【現行】健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」										
整理番号	分野	目標	評価指標	H25年度プラン策定時		直近の状況		R5年度目標値	評価	指標出典
				数値	指標年度	直近値	指標年度			
17	がん 【がんとの共生】	がん相談窓口の認知度の向上	がん相談窓口における相談受理件数	2,255件	H23	6,831件	R4	7,400件	A'	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ
18		がん罹患を理由に失職する勤労者の減少	がん罹患を理由に失職する勤労者の割合	25%	H23	25%	H23	減少させる	E	がん患者の就労支援・社会復帰に関する調査
19	がん 【これらを支える基盤】	がん登録の精度の向上	がん登録集計罹患数に対する病院等からの届出率	81.5%	H20	98.2%	R1	90%以上	A	山形県がん実態調査



【次期】健康やまがた安心プラン「第4章 がん対策」										【現行】政府のがん対策推進基本計画
整理番号	分野	目標	評価指標	R5年度プラン策定時		R11年度目標値	指標出典	指標区分	評価指標	目標値
				数値	指標年度					
16	がん 【がんとの共生】	がん相談窓口の認知度の向上	がん相談窓口における相談受理件数	6,831件	R4	7,400件	県がん対策・健康長寿日本一推進課調べ	①	がん相談支援センター等の認知度及び質を向上させ、精神的・社会的な悩みを持つ患者やその家族等が適切な相談支援を受けることができ、また、患者やその家族等、医療従事者等を含む全ての国民が、必要な時に、自分に合った正しい情報にたどりつくことができることを目指す	(数値目標なし)
17		がん罹患を理由に失職する勤労者の減少	がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	61.4%	H30	検討中	患者体験調査	⑥	就労支援及び治療と仕事の両立支援の推進	(数値目標なし)
-		がん罹患を理由に失職する勤労者の減少	がん罹患を理由に失職する勤労者の割合	25%	H23	廃止		⑨		(数値目標なし)
18	がん 【これらを支える基盤】	がん医療に携わる専門医療従事者の増加	放射線治療専門放射線技師の配置割合(拠点・指定病院)	6/7病院	R4	100%	がん診療連携拠点・指定病院現況報告書	①	がん医療における人材育成の強化により、がん専門医療人材が拠点病院等を中心に、適正に配置されることを目指す	(数値目標なし)
19		【がん医療】から【これらを支える基盤】に移行	日本医療薬学会認定のがん専門薬剤師の配置割合(拠点・指定病院)	4/7病院	R4	100%	がん診療連携拠点・指定病院現況報告書	①		(数値目標なし)
-		がん登録の精度の向上	がん登録集計罹患数に対する病院等からの届出率	98.2%	R1	廃止		⑨		(数値目標なし)

- ①…(継続) 指標・目標値とも変更なし
- ②…(見直し) 指標の見直し(国準拠)
- ③…(見直し) 指標の見直し(県独自)
- ④…(見直し) 目標値の見直し(国準拠)
- ⑤…(見直し) 目標値の見直し(県独自)
- ⑥…(新規) 国準拠
- ⑦…(新規) 県独自
- ⑧…(廃止) 国準拠
- ⑨…(廃止) 県独自